

TOPICS

令和
4年度

施政方針

3月市議会定例会で、安藤正明市長は令和4年度の施政方針を表明しました。こちらの特集では、本年度の弥富市が取り組む施策などをお伝えします。

※掲載している施政方針は、要約してあります。

新型コロナウイルス感染症は、世界規模で拡大し、国内における感染初確認から2年が経過いたしました。

昨年、本市では、皆様のご理解とご協力により、ワクチン接種が順調に目標達成することができ、多くの方の接種率の向上が暮らしの安全・安心につながったと考えております。

また、市民の皆様、事業者の皆様には、危機感を持って感染症対策に取り組んでいただき厚くお礼申し上げます。とりわけ、海南病院を始め多くの市内医療機関、保健関係者の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、時の流れは誠に早いもので、私ごとではございますが、市政運営をスタートしてから4年目を迎えており、令和4年度は、任期1期目の集大成であります。積極的な行動力、チャレンジ精神を持ってコロナに打ち勝ち、これまでの取り組みの成果を礎に初心を忘れること無く市政の一層の発展と本市のさらなる安全・安心なまちづくりに全力を尽くし、輝く未来へ着実に歩を進めてまいりたいと決意を新たにしているところでございます。

これまで、市政を着実に進めることができましたのは、市民の皆様や市議会の皆様のご力強いご支援とご理解ご協力のたまものと、心より感謝申し上げます。皆様方とともに、協働によるまちづくりの推進を着実に進め、新年度につきましてもさまざまな課題にしっかりと取り組んでまいります。



令和4年度 基本方針

令和4年度の市政運営に当たっては、引き続き3つの重要な視点を持って取り組みます。

- 1 健やかに暮らせる、安全・安心なまちづくり
- 2 地域産業が元気で、生き生きと働けるまちづくり
- 3 人が行き交い、魅力と賑わいあふれるまちづくり

令和4年度の重点施策

3つの重要な視点に基づき、6つの基本目標ごとに掲げます。

基本
目標 1

いつまでも住み続けたい安全・安心なまち

防災・減災対策

○令和3年度に作成しました「洪水ハザードマップ」、「高潮ハザードマップ」、「浸水津波ハザードマップ」を活用しながら、市民の皆さんへ避難方法や、事前防災の違いなど普段からの備えについて啓発します。

防犯・交通安全対策

○小・中・高校生や高齢者の交通安全対策事業として、愛知県と連携し、引き続き自転車乗車中の交通事故による頭部損傷の軽減に資するために、ヘルメットの購入に対する補助制度を実施します。

環境衛生対策

○令和4年度は、一般廃棄物処理基本計画の最終年度にあたり、現行計画における目標達成状況を把握、評価した上で見直し、今後のごみ処理および生活排水処理に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画を策定します。

基本
目標 2

笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち

子育て支援

- 市が運営する保育所、児童館、児童クラブ、子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターをはじめ、民間事業者や関係機関と連携を図りながら、安心して子どもを育てられるよう、子育て支援事業の充実に努めます。
- 弥富市公共施設再配置計画に基づき、多様化する教育・保育ニーズに対応できるよう、保育所の民営化および認定こども園化に向けた取り組みを進め、まずは令和7年4月を目標に1カ所の民営化を実施します。

高齢者支援

- 緊急通報システム事業につきましては、これまで、所得税非課税世帯に限定しておりましたが、課税世帯の方にも一部のご負担で利用していただけるよう拡充を図り、ひとり暮らしの高齢者などの急病や事故などの緊急事態に対応します。
- 誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるように、「海部南部権利擁護センター」を中心に、自らの権利を守るために支援を必要としている認知症高齢者、知的障がいや精神障がいのある方々、また、その家族などに成年後見制度の利用支援や権利擁護に関する相談事業の充実に努めます。



健康づくり

- 新型コロナウイルスワクチン接種の追加接種の予約やお問い合わせにも的確に対応できるよう、引き続きコールセンターや予約窓口を設置するとともに、市民の皆さんが1日も早く安全にワクチン接種ができるよう取り組みます。
- 15歳以下の子どもおよび妊婦に対するインフルエンザ予防接種の費用助成を引き続き実施するとともに、子宮頸がん予防ワクチンにつきましては、積極的な接種勧奨の再開により接種機会を逃した方への対応についても取り組みます。
- 歯科保健事業としましては、節目歯科無料クーポン検診対象者を25、35、45、55、65、75歳にも拡充し、う蝕や歯周病の早期発見、早期治療のために歯周病検診の必要性を啓発し、受診率の向上を目指します。

福祉医療事業

- 子ども医療において、助成対象を高校生世代までとする新しい子ども医療制度をスタートさせ、次の時代を担う子どもたちが健やかに育ち、安心して子どもを産み育てることができる環境を整えます。